



安藤眼科医院

ANDOEYECLINIC

# Annual Report 2021

## 医療法人社団 安藤眼科医院

高度な医療 そして やさしい心配り  
患者様の明るい世界、輝く笑顔が見たいから成長し続けます



◇安藤眼科医院

〒258-0003 神奈川県足柄上郡松田町松田惣領 965-1  
TEL0465-83-4545

◇安藤眼科医院小田原クリニック

〒250-0862 神奈川県小田原市成田 168-5  
TEL0465-38-0344

◇安藤眼科医院南足柄クリニック

〒250-0105 神奈川県南足柄市関本 569 ヴェルミ2 1F  
TEL0465-73-1515

<https://www.andoganka.com>

[info@andoganka.com](mailto:info@andoganka.com)

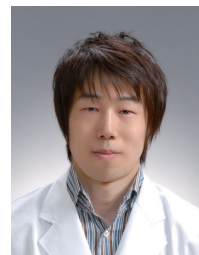
# 目 次

院長挨拶	理事長・院長	安藤 浩	1
2021年の思い出			2
PEGASUSに乗って	名誉院長	安藤 展代	3
学会発表・勉強会			3
COVID-19との闘い			
コロナ禍での1年を振り返って	副院長	江口 亮	4
コロナウィルスに翻弄された夏	事務部長	加藤 晃仁	4
手術室でのコロナ対策	手術室長	木村 智嘉	5
看護部のコロナ対策	看護師長	松山さやか	5
医師会・眼科医会			5
2021年に行われた手術			6
安藤眼科医院の機械達			
最新の検査機器に囲まれて	検査部長	井上 拓己	7
新しくなったレーザー光凝固装置：PASCAL Synthesis	医 長	石川 暢子	7
Canon SS-OCT『Xephilio OCT-S1』について	医 長	戸野塚敏恵	7
CASIA2について	視能訓練士	笹原 諒平	8
NAVILASについて	医 長	近藤 亜紀	8
Canon SS-OCT『Xephilio OCT-S1』を使用してみた	臨床検査技師	新村 瑞希	8
当院のロービジョンへの取り組み			
当院でのロービジョン検査について	視能訓練士	山口 優希	8
2021 アンケート 安藤眼科職員全員に聞きました!!			9
学会・勉強会			10
新入職員に聞きました。安藤眼科医院はいかがですか？			
この1年を振り返って	事 務	伊部 誉子	11
一年を振り返って	事 務	田中 優希	11
この1年を振り返って	看 護 師	鈴木 理絵	11
安藤眼科で1年経過して	臨床検査技師	今田 博久	11
あっという間の一年	事 務	金園 藍	12
この1年間を振り返って	事務 すっきり号マネージャー補佐	土屋 志帆	12
僕にできる事	臨床検査技師	梶浦 充敏	12
6カ月を振り返って	検査助手	小林 千絵	12
安藤眼科医院に入職して	視能訓練士	白井 良	13
新入社員のように	ドライバー	松島喜久朗	13
コロナ禍でのすっきり号運行	事務 すっきり号マネージャー	生水 里美	13
改装・修理・点検			14
スタッフ			15
2021年皆勤賞			15
退職者			15
編集後記			15

表紙写真：スタッフのペットたち

## 院長挨拶

理事長・院長 安藤 浩



安藤眼科医院のアンニュアルレポートをお手に取っていただき、ありがとうございます。

令和3年にも安藤眼科医院は多くの人々のお世話になりました。地域の皆様、多くの医療機関、クリニック、大学の先生方や皆様、そして関連する企業の皆様に、今年のお礼を申し上げます。また、これからもご指導、ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。

1年間当院はいろいろなことを学びつつ成長を続けてきました。種々の眼科用機械の導入や更新、組織内での改革や地域へのかかわりの変化など多くのことがありましたが、中でも私から見て印象的だったことを列挙したいと思います。

### COVID-19 対策の暫定成功

昨年に引き続き今年もまた COVID-19 の影響を強く受けた一年でした。感染症の拡大が決定した時点から、当院では PMBOK (Project Management Body of Knowledge) に則り、感染症対策を次々と打ち出しています。令和2年に当院での COVID-19 感染症対策プロジェクトについて、成功定義を「市中感染が収束または安定するまで、職員を感染のハブとする院内感染を発生させないこと」と定義してありました。市中感染の収束または安定をどこにするか、という問題は残るものの、デルタ株の感染者数が（原因不明ですが）本邦で激減している現状（令和3年10月）で暫定成功中といえます。これからも、油断せずに感染症対策の継続と見直しを続けていきたいと考えています。

### デジタル化

COVID-19 の蔓延を契機に昨年より院内院外の情報伝達のデジタル化を推し進めました。医師全員が直接集まることは危険だと考え、各診療机に iPad を配布し、iPad 上に連絡用としての Google Workspace と、知識集積用の Evernote を走らせ、ミーティングを ZOOM で行いました。医師の私生活を侵食せず、デジタル化作業の負担を最小限にして、連絡効率において過去のアナログの効率を上回らせたかったのですが、1年を経過しておよその目的を達しているように思います。実際に、医師が行う医療行為以外の時間が少なくとも5%減少し、当院の生産性を上昇させています。また、直接会って会話することの重要性も痛感したので、院内職員のワクチン接種完了と前後して月一回は最小限必要なオフラインミーティングも実施するようにしました。PC 画面上の意思疎通と、非言語的コミュニケーションが行われる直接会話のバランスを、今後も模索することになりそうです。

### 医療行為の適正化

COVID-19 は警戒すべき感染症ですが、必要な医療行為を委縮させるわけにはいきません。感染症対策を順次打ち出しつつ、「不要不急」ではなく、要・急の医療行為は通常基準通りを維持できるように努力しました。令和2年には待合室の閑散化を目的として外来診療を10~20%程度縮小しましたが、要領が分かるのと同時に効率が上昇し、外来件数をある程度まで回復できるようになりました。令和2年に減少させていた水晶体再建術の手術件数は上昇を開始しました。また、本来は手術数が増えるべきではなかったにもかかわらず昨年減少してしまっていた緑内障手術は、今年になり反動としてあきらかに増加傾向になりました。また、手術や外来件数の増加は、昨年後半から当院で勤務している近藤亜紀医長の診療が、今年に入り安定していることも一因となっています。

### 医師診療体制の拡充と近藤医長の安定

令和2年秋から近藤亜紀医長が当院の医師として勤務を開始しました。頭脳明晰、人柄もとてもよく、当院の診療を底上げしてくれる戦力としてとても信頼しております。すでに安定した手術技術があるので、当院で初診した白内障手術（水晶体再建術等）は安心して任せています。学術にも興味を持っており、当院の診療機器内に蓄えられたデータをもとに学会発表や論文作成にも取り掛

かっております。当院には持ち味の違う常勤の医師が6名在籍することになりそれぞれの得意分野と思考回路を存分に使い、これからもさらに発展できると思います。手前味噌ではありますが、現在の当院の医師は非常にレベルが高く、院長の私がついていくのに必死な状態です。

### 数多くの失敗

今年も多くのことに挑戦し、失敗の山をたくさん作りました。外来支払いキャッシュレス化の延期、一旦閑散化に成功した院内待合室の再混雑、一部職員の長時間労働、多数発行されるメール連絡の整理不足、医療用機器発注の属人化が解消できない、デジタルカルテ記入の属人化が解消できない、建物内の動線が乱れて来院者の快適性が損なわれる等、完成できずにいる事項や頓挫した計画を数え上げるとときがありません。COVID-19のために内部構造での失敗に気付くことが多く、院長として、今までの積み重ねからくる力不足を感じるものがとても多い一年でした。多くの失敗の中には、改善すれば成功に導けることもいくつかあり、これからも努力を続けようと考えています。

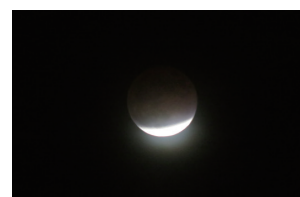
### これからのこと

令和3年10月現在、本邦でCOVID-19感染者数が激減し、とても幸運な状況になっています。他国との差が出ている原因は不明ですが、ワクチンの普及、感染症にかかわる多くの医療従事者の功労、ワクチン接種やマスク着用などの一般の人々の努力等、多くの人々の力をあわせた結果が影響したことは間違いありません。当院では、何とか感染症の惨禍をすり抜けながら、同時に今後の組織力や防疫体制をかなり強化できました。

外に目を向けると、眼科学の世界は日進月歩で、優れた医療材料や医療機器、医薬品が次々と開発されています。今年の学会ではAIによる診断補助機械のデモも行われるようになりました。COVID-19を乗り越えられる当院の組織力をさらに強化し、医師の力を底上げしながら、最新鋭の医療を提供できるようにこれからも努力したいと考えています。

## 2021年の思い出

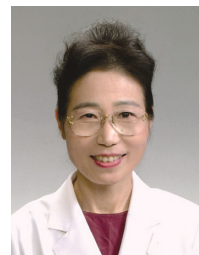
1月22日	第2回インフルエンザワクチン接種
1月22日	LGBTsについての説明
2月18日	OCT-S1 (キャノン Xephilio) 導入
2月19日	新型コロナウイルスワクチンについての説明
3月19日	LGBTs 講習
4月16日	春の防災訓練
4月28日	愛 to eye 第13号発行
4月29日～5月9日	小田原クリニックエレベーター改修工事
4月30日・5月7日	コロナワクチン接種1回目
5月21日・28日	コロナワクチン接種2回目
6月～	LGTBsの講習を受け、各院の受付に旗を置いた
6月18日	新型レーザー装置 (PASCAL Synthesis) 導入
7月～	LGTBsの講習を受け、問診票に通名記入欄を追加
8月7日	愛 to eye 第14号発行
9月4日	CATALYSとお別れ
10月22日	秋の防災訓練
11月1日	前眼部OCT CASIA2 Advance 導入
11月19日	インフルエンザワクチン接種
12月24日	Annual Report 2021 発行



11月19日 月食

## PEGASUS に乗って

名誉院長 安藤 展代



去年の冬、突然わけのわからない感染症の流行が始まり、生活が一変した。生活が変わっただけではない。何をどうして良いのか緊張が走るばかりであった。マスク、アルコールなど必要と言われる物品が次々に入手困難になり、重症化した人が次々死ぬ。それが世界中に広がってゆく。別々の職場に勤めていれば家族も信用できない。手を洗ったか、着替えたかと声を掛け合い、診療所では患者や職員同士の感染が起こらないように、自分が感染しないように、日常生活がすべて緊張する毎日であった。カミュの「ペスト」や小松左京の「復活の日」を本棚から探し出した。待ち望んだワクチン接種を受けた時はほっと溜息が漏れた。そして集団接種のお手伝いにも参加した。とにかくワクチンの効果に期待するしかないと思うと、接種に訪れる人がありがたく、よく来てくださいましたとねぎらい、心配でためらう人を一生懸命励ました。

ワクチン接種率がかなり上がり、感染状況が横ばいになって来たので、もういいだろうと8月末に白馬に行く計画をした。ほとんど毎年八方尾根に登り、八方池のサンショウウオを励ましていたのだったが、去年は行けなかった。ところが緊急事態宣言が延長となり、またしてもキャンセルせざるを得なかった。

9月末やっと緊急事態宣言は解除された。もうがまんできない!! 10月15日(金)から3泊で白馬に行くことにした。運動不足と相まって長年の膝の故障が悪化している。それでも行きたい。9月末にこれも久しぶりのお買い物に行き、NIKEのAIR ZOOM PEGASUS 38を買った。お店に入るなり「マラソンの人が履いてるピンクの靴を下さい」と言ったのだが、それはフツの店には無いし、フツの人には売らない、new modelはフルマラソンを3時間で走れる人だけと言われてしまった。代わりに市民ランナー用というのを勧められた。この靴がとても良かった。履いた途端から楽に歩ける、膝への負担が軽くなった。初日は八ヶ岳、南アルプスの山々を眺めながらゆっくりと白馬村に入った。2日目は梅池高原に上がった。ゴンドラを降りてしばらくは久しぶりに歩く山道がきつくてつらかったが、だんだん慣れて高原の散策コースを一周した。もう紅葉も草紅葉も終わり、どの木もどの草もじっと静かに冬を待つ気配になっている。3日目は強風のためロープウェイもゴンドラもリフトも止まってしまった。そこで岩岳に歩いて登った。PEGASUSさんのおかげで何とか頂上にたどり着けた。そして3日目、ついに八方尾根を目指した。リフトの終点に着くと懐かしい斜面が待っていた。お天気があまり良くないので滑らないようにゆっくりと登る。夏の最盛期には切れ目なく列になって登るのでゆっくり登ると人の迷惑になるのだが、さすがに人は少なくて楽だった。出かける前は八方池まで行き着ける自信が無かったのだが、PEGASUSに乗ってとうとう登りきることができた。八方池から上はすでに雪があり、その先の唐松岳を目指す人はさらに少ないようだった。肝心のサンショウウオは元気か?池の周りを巡ってみたが何故か一匹も見つからない。いつか雪が溶けていない時に来た時見つからなかったことを思い出した。サンショウウオは冬眠するのだろうか? また季節が良くなったら行ってみよう、PEGASUSに乗って。



## 学会発表・勉強会

1月29日～31日 日本眼科手術学会学術総会(京都)

学術展示:多焦点眼内レンズ6種及び低加入度数分節眼内レンズ1種の術後早期視力の比較:安藤 展代

モーニングセミナー:クリニック業務デジタル化攻防記:安藤 浩

ランチョンセミナー:ライフスタイルと明視域:安藤 浩

11月13日 第3回ビジョンフォーラム web 講師 安藤 浩

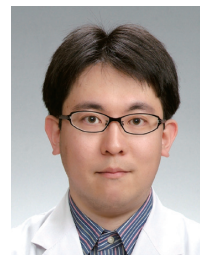
論文掲載

Aki Kondo: Epinucleus Scraping: Safe New Phacoemulsification Technique for Rock-Hard Cataracts. The OpenOphthalmology Journal

# COVID-19 との闘い

## ■ コロナ禍での 1 年を振り返って

副院長 江口 亮



8月26日夕方、妻から1通のLINEが…「家族3人とも陽性」。私はその時点より“濃厚接触者”として2週間の自宅待機を指示されることとなりました。長女と長男にその日の朝に38度台の発熱、妻は熱はなかったものの後から考えると数日前からだるさはあったようでした。同日夜に小田原保健所より電話にて聞き取り調査あり(1時間以上!保健所の職員の方は大変です)。早くも2日後には神奈川県よりパルスオキシメーターと食料(冷凍食品やレトルト、ワタミの宅食など)が自宅に送られてきました。TVなどで自宅療養者に対する対応の不十分さなどがよく取りあげられていたものの、実際にはしっかり体制が出来上がっているように感じ、これは当事者にならないとわからないものでした。子供2人は幸い熱もすぐ下がり、長女は嗅覚障害(とそれによる味覚障害)が続いていたものの長男はほぼ無症状に近く夏休みが伸びるのを無邪気に喜んでいました。妻はコロナールを服用しても38度以上の熱が1週間ずっと持続しており、ほとんど食事もとれない状態でした。1週間経過しても改善がないため、PCR検査を受けた自宅近くの内科の先生にご相談し、ステロイドを含めた内服薬の処方をしていただき(しかも近隣の薬局が自宅まで配送サービスを行っていました。)その後は緩やかに改善していきました。経過を通して酸素飽和度はずっと下がらず呼吸状態に問題がないのは何よりでした。結局、3人が陽性になった週が第5波のピークに近く、それ以降毎週感染者が半減していく状況となりました。神奈川県のWebページ(<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/facilities/top.html>)より「自宅・宿泊療養のしおり」がダウンロードでき、それに必要事項などがまとまって役に立ちました。また、陽性者にのみ通達される問い合わせ電話番号があり、療養上の疑問点があればそこに連絡すると(つながりにくくはあるが)対応してもらえました。

安藤眼科医院の方々にはいろいろとご迷惑をおかけしました。現在、感染状況は落ち着いておりワクチン接種も進んできているものの、冬にかけて第6波が来る可能性は否定できません。昨年からずっとCOVID-19関連の報道が途切れることはありませんが、まだ実際に身近に感染者がいないという方が多いのではないかと思います。感染は誰にも起こりうるもので、今後あなた本人や御家族が感染者となる可能性も十分にあります。今回当事者となって、マスコミで報道されているよりは行政の対応はずっとしっかりしていることが実感できました。これは関係者の方々の努力の賜物だと思います。一家族の体験談ではありますが、どなたかのお役に立てるかもしれないと思い、今回書かせていただきました。

## コロナウィルスに翻弄された夏

事務部長 加藤 晃仁

何度も繰り返すコロナウィルス感染の波の中、当院でも職員の濃厚接触判定による出勤停止措置が度々行われておりました。そして8月26日17時35分、江口先生が濃厚接触判定との連絡が……。保健所の2週間出勤停止指示に伴い、スタッフは江口先生の患者様に予約変更の連絡、手術予定の変更、各診療所間のスタッフ移動禁止に伴うシフト調整等の対応に追われました。各部門責任者を中心にスタッフ全体から問題点と解決策が次々と出され、スタッフの成長と眼科組織体制が確立されたことがとても頼もしく、そして誇らしく思いました。患者様には多大なるご迷惑をお掛けし大変申し訳ございませんでした。また御予約の変更にご快く応じて頂きありがとうございます。各部門責任者、スタッフのみなさん、本当に御苦勞様でした。オミクロン株による第6波の到来が懸念される中、皆様も感染には十分ご注意ください日々をお過ごしください。

追伸

江口先生はじめスタッフのPCR検査をお願いしております小泉クリニック小泉健一先生、お忙しいところいつも快く受診に応じて頂き、先生には感謝しかございません。本当にありがとうございます。

## 手術室でのコロナ対策

手術室長 木村 智嘉

手術関係でコロナ対策として新たに取り入れた最も大きな事柄は両眼同日手術です。両眼同日に手術を行う最大のメリットは患者様の来院回数を減らす事ができる点です。実際に、両眼同日手術を開始してみると手術の準備をする2階（病室）の混雑緩和や手術室に出入りする患者数の減少、患者様の入れ替えにかかる時間の短縮等々、日々の業務にプラスに働く効果が思っていた以上に大きかったと感じました。勿論、プラスの作用だけでなくマイナスの面も無い事はないので、このコロナ渦が終わりを迎えた時には両眼同日手術を続けるのかどうか検討が必要になる事でしょう。

このような事が無ければ、特別な理由が無い限り行われる事が無かった両眼同日手術が安藤眼科医院のスタンダードになる予感を僕は感じています。

## 看護部のコロナ対策

看護師長 松山さやか

コロナ禍になり約2年が経過しますが、看護部が行ったコロナ対策をご紹介します。

- ① 白内障手術説明会を廃止し個別説明に切り替えました。手術説明会は平等な説明を受けられ患者間の情報共有もできる有意義なものでしたが密を避けるために泣く泣く廃止。代わりに行う個別説明は個々の不明点や不安などに寄り添えるものとなりました。
- ② 手術中の患者様にマスク着用を徹底しました。マスクで鼻口は隠したいけど消毒する範囲も確保したいと試行錯誤する日々が続き現在に至ります。
- ③ 両眼同日手術を段階的に試行しました。1日の手術件数を変えることなく来院人数が減ることで2階の密の回避に成功！この試みは患者様にメリットも多く、来院回数が少なくなり、手術前後の目薬は両眼同じなので間違えない、術後生活もよりスムーズとなりました。コロナ対策として始めたことではありますが、看護師はぜひ患者様のために両眼同日手術を続けてほしいと思います。

## ■ 医師会・眼科医会

4月～6月 学校検診

安藤 浩：神奈川県立大井高校、立花学園高校、松田幼稚園、松田小学校、松田中学校、寄幼稚園、寄小学校

江口 亮：神奈川県立吉田島高校、山北高校、岡本小学校、岡本中学校、中村小学校、井ノ口小学校、中井中学校

石川 暢子：大井幼稚園、大井第二幼稚園、大井小学校、上大井小学校、湘光中学校、相和幼稚園、相和小学校、川村小学校

戸野塚敏恵：南足柄小学校、岩原小学校、山北中学校

近藤 亜紀：北足柄小学校

6月20日 小田原休日急患診療所 安藤展代

7月4, 11, 18日、8月22日、9月5, 12, 19日 新型コロナワクチン集団接種 安藤展代

10月～12月 就学時前健診

安藤 浩：松田町

江口 亮：岡本小学校

石川 暢子：大井町

戸野塚敏恵：南足柄小学校、北足柄小学校、岩原小学校

■ 2020年12月から2021年11月までの手術件数は3319件でした。

内眼手術	2021年	2020年比	2019年比
水晶体再建術	2616	1.05	1.12
単焦点眼内レンズ手術 (内数)	2555	1.20	1.34
多焦点眼内レンズ手術 (内数)	61	0.17	0.14
緑内障手術	353	4.15	1.19
硝子体手術	31	0.82	0.91
<b>合計 (a)</b>	<b>3000</b>	<b>1.10</b>	<b>1.12</b>

外眼手術	2021年	2020年比	2019年比
翼状片	88	1.66	1.57
眼瞼手術	83	1.26	1.34
霰粒腫	20	2.22	2.00
PTK	24	1.50	1.26
その他	12	0.92	1.71
<b>合計 (b)</b>	<b>227</b>	<b>1.45</b>	<b>1.47</b>

視力矯正手術	2021年	2020年比	2019年比
ICL+P-IOL	15	7.50	1.88
LASIK	16	2.29	1.45
SMILE	57	1.73	1.02
PRK	1		0.50
エンハンス	3	1.50	1.00
<b>合計 (c)</b>	<b>92</b>	<b>2.09</b>	<b>1.15</b>

硝子体注射	2021年	2020年比	2019年比
ベオビュ	37	1.32	
ルセンチイス	75	1.07	0.47
アイリーア	1008	1.11	1.22
<b>合計</b>	<b>1120</b>	<b>1.11</b>	<b>1.13</b>

<b>手術合計 (a+b+c)</b>	<b>3319</b>	<b>1.14</b>	<b>1.14</b>
---------------------	-------------	-------------	-------------

マキュエド後部 テノン嚢内注射	23	0.56	0.68
ボトックス	20	0.91	1.05

今年の手術件数を2019年(コロナ前年)、2020年(コロナ初年)と比較してみた。水晶体再建術(総数)は2020年の1.10倍だが、2019年比も1.12で、2020年には増加していない。ただ、多焦点眼内レンズ手術が2020年3月で先進医療対応から外れたことで激減した一方、健康保険適用の単焦点眼内レンズ手術は2019年の1.34倍、2020年の1.20倍と著しく増加している。これは近隣の大小の医療機関がコロナ対応に追われ、水晶体再建術のパフォーマンスが落ちてしまったために当院への期待が増え、当院も工夫を凝らして手術に当たったためであろう。スタッフ全員のレベルの高さが無ければできないことである。

対応に苦労したのは、破嚢症例:22眼(0.8%) 亜脱臼または毛様小体脆弱症例(CTRで対応可能であったもの):54眼(2.1%)、一次的に眼内レンズを入れられなかった難症例:8眼(0.3%)であった。

緑内障手術は2019年の1.19倍、2020年の4.15倍となっている。去年は患者の受診控えと、受け入れ側も通院回数が増える緑内障手術を先送りにする傾向にあったが、今年になって待たなしの状況になった症例が多いことが大きな要因であるが、1年前からアイステント手術が軌道に乗り、短い手術時間、合併症の少なさ、しかも良好な術後成績を実感するに至って、件数が大幅に増加したと考えられる。

外眼手術は2019年と2020年はほぼ同じであったが今年は大幅に伸びた。石川先生の頑張りが一因であろう。

視力矯正手術は去年ほぼ半数にまで減少し、今年になって回復、おととしの1.15倍になったと考えられる。現在VisuMaxの調子がすこぶる良好なので、良い手術をもっと普及させたいものである。

硝子体注射は2019年から1割強の増加が続いている。この数はコロナの影響をあまり受けておらず、必要な患者さんをきちんとキープしているということが静かな喜びである。忙しい硝子体注射を黙々とこなしている石川先生、戸野塚先生に感謝します。

安藤 展代 木村 智嘉



## ■安藤眼科医院の機械達

### 最新の検査機器に囲まれて

検査部長 井上 拓己

当院には、毎日多くの患者さまが来院され、必要に応じ、さまざまな検査を受けていただきます。そんな中、検査中に患者さんから「この眼科には新しい機器が多くあり、設備が整っていて凄いですね」と言われることがあります。普段は気にもしません、そう言われて改めて当院の検査機器を見てみると、確かに多くの機器が置かれ、時には名のある大学病院にもまだ導入されていないような日本に数台しかない最新機器も入ってくることもあります。それは、当院のモットーでもある「地域の人に最良の眼科医療を提供する」為に必要なことでもあります。このような最新の機器に囲まれた恵まれた環境で仕事ができることに感謝しつつ、これからも常にアンテナを張って、より良い検査機器を導入し、適切な検査、そして診断と早期の治療に繋げていくことで、より多くの患者さんに寄り添えるようになって感じています。

### 新しくなったレーザー光凝固装置：PASCAL Synthesis

医長 石川 暢子



今年、長くお世話になっていた PASCAL が故障しました。故障が分かった日は治療の予定があり、システム立ち上がりで失敗した表示を見た時は途方に暮れましたが、現行機種 PASCAL Synthesis を購入決定後器械が速やかに搬入されたことで治療予定の患者様におかけする負担が最小限で済んだのは大変ありがたく、院長及び各関係者のご尽力に感謝しております。本当に良かったです。私は治療中照射エネルギーをこまめに調節していますが、新しい器械の操作画面は直感的に操作しやすく、また患者様の眩しさを抑えた上眼底が見えやすいので以前よりさらにレーザー治療が楽しくなりました。付属している PSLT についてはまだ使用する機会が無く感想をお伝えできませんが、他の Dr から良好な結果を得ていると聞いていますので今後は楽しみです。

### Canon SS-OCT 『Xephilio OCT-S1』 について

医長 戸野塚敏恵



Canon SS-OCT 『Xephilio OCT-S1』 が導入されました。広角 23mm まで撮影可能かつ高深度なので周辺部・脈絡膜まで OCT で確認することが可能です。また、OCTA 機能も搭載されているため、従来の FAG とほぼ同等の検査ができ、非侵襲で病態の把握が可能になりました。その他、様々な機能を搭載した機械です。

私が特に利便性を感じているのは広角 OCTA です。日常診療で比較的多い 糖尿病網膜症、網膜血管閉塞症などの血管性病変に対し即時・安全に網膜血流の検査を行うことができ、その後の診療・治療にとっても有用です。また、脈絡膜の血管・断層像撮影も可能なため、脈絡膜疾患に対しさらなる病態把握が可能になったと思っています。当院には 2 種の OCT があります。疾患によって病変の部位・範囲・程度などが様々ですので、病態の確認のためにこれら OCT のそれぞれの特性を理解し、今後の診療に役立てたいと思います。

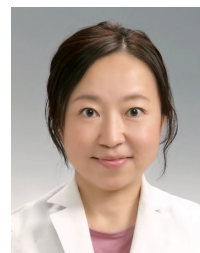
## CASIA2 について

視能訓練士 笹原 諒平

前眼部三次元画像解析といえれば以前から CASIA の名前は学会会場などで耳にすることはありました。しかし、当院では TMS やペンタカムを使用し、白内障術前に浅前房や狭隅角などを撮影する事ができていました。ですから CASIA2 を導入すると聞いて驚きました。実際使ってみると今までよりも撮影時間が短く、瞬時に撮影が出来ます。角膜形状や前眼部の状態をより鮮明に描写することが可能です。緑内障で線維柱帯切除術後の方のプレブの状態や i-stent が挿入されている状態を撮影する事が可能になり、今まで画像として説明できていなかった部分を患者様に説明できるようになりました。CASIA2 が導入されることで診療のクオリティが上がると思われれます。

## NAVILAS について

医長 近藤 亜紀



当然メリット、デメリット、ラーニングカーブがありますが、総じて現在はとても気に入っています。始めに行うプランニングはやや煩雑ですが、それが済むとフットスイッチを踏むだけでかなりスピーディーにオートで照射が終わります。他のレーザーで網膜にピントを合わせて打つ位置を決めフットスイッチを踏むまでの時間を初めに纏めて行うイメージです。またプランニングは患者さんが顔を外した状態で行うため眼底に光を当てる時間が短く済みます。最大のメリットは蛍光眼底造影や広角 OCTA 画像等をオーバーレイ（重ね合わせ）してプランニングを行える点です。他のレーザーはこの作業を医師の目で行うため、NAVILAS の方がより正確に行えると考えます。アイトラッキングシステムや接眼レンズが無くモニターを見て照射するため他の人と共有しやすい点、赤外光照明で照射可能など、まだまだ魅力はありますが字数の関係でここまでとしたいと思います。

## Canon SS-OCT『Xephilio OCT-S1』を使用してみて 臨床検査技師 新村 瑞希

網膜の血液循環を調べるには、患者様に造影剤を投与して検査を行う必要がありました。そのため検査には医師と看護師も必要不可欠であり、検査時間も長くなります。Canon OCT-S1 では造影剤を使用する事なく血液の流れを撮影する事が出来、患者様と検査員のみで検査が行えます。当院に Canon OCT-S1 を導入すると決まった当時、「この器械を導入している施設は、神奈川県では当院が2施設目！凄い器械だ！」と聞いていたので、上手く操作出来るかとても不安がありました。実際に操作してみると想像していたよりも簡単で、練習の段階でも綺麗に撮影する事が出来ました。短時間の撮影時間でかなり広範囲を撮影することができ、そして素晴らしく高画質です。このように簡単かつ短時間で綺麗な画像が撮影出来る事に、大変感動いたしました。造影剤を投与する必要がなく検査時間も短いので、患者様への負担も大幅に軽減されていると感じています。

## ■ 当院のロービジョンへの取り組み

### 当院でのロービジョン検査について

視能訓練士 山口 優希

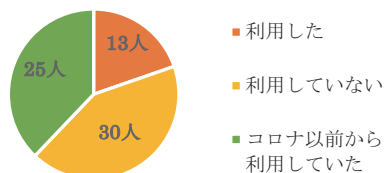
ロービジョンとは、視機能の低下により生活に支障がある状態を指します。治療と並行しながら視機能を最大限生かす為に、当初は眩しさを抑える遮光眼鏡の選定からスタートしました。現在では読み書きに必要な倍率を算出し、拡大鏡や拡大読書器などの選定を行っています。中でもスタンブルーペはドーム状で紙面に置き、上から覗き込むだけで文字を拡大できる拡大鏡で簡単に使用できると好評です。ロービジョンに該当させる患者様は視力、視野、眩しさなど一人一人異なり、ニーズの確認が重要です。患者様が今何を求めて、どのような支援を行えばよいか念頭に置きながら検査を進めています。見えないことで諦めてしまっていた動作も、見えるようになればQOL(生活の質)の向上に繋がるきっかけになります。見え方を補う工夫やアドバイスを行い、見える喜びを享受していただけるような選定、情報を提供していきたいと考えています。

## ■ 2021 アンケート～安藤眼科医院職員全員に聞きました!!

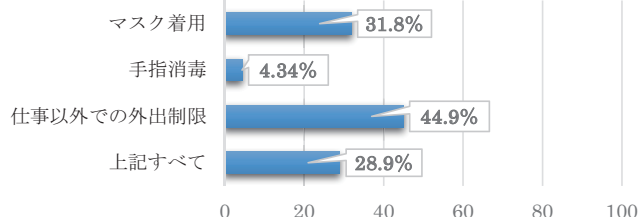
対象は産休や育休などで休職中の職員を除く、安藤眼科医院の職員全員（計 69 人）。

コロナ禍でライフスタイルが大きく変わり、テレワークやリモートでは難しい医療職の当院ではコロナ禍、緊急事態宣言中も普段と変わらず出勤し仕事をしている中で、コロナ前と現在の違いについて思う事をアンケートとして聞いてみました。

### 1) コロナ禍になってサブスクを利用した?



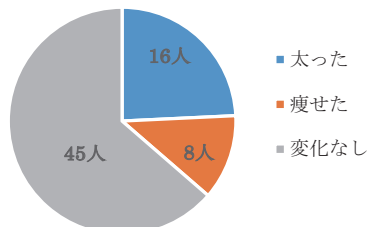
### 2) コロナ対策でストレスだと感じた事は?



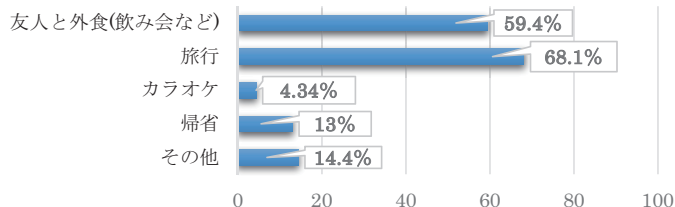
※その他にストレスだと感じた事に以下の回答がありました。

- ・エレベーター
- ・自動じゃないドア
- ・子供があちこち触って心配
- ・バスの後ろに座った人が喋っている

### 3) コロナ禍で体重は?



### 4) コロナ終息後に真っ先にやりたい事は?



※その他の回答として以下の内容もありました。

- ・登山
- ・ディズニーへ行く
- ・子供の試合や大会の見学
- ・健康ランドに行く
- ・子供と一緒に病院へ面会
- ・親戚一同で食事会
- ・聖地巡礼
- ・色々なお祝いやパーティーなど
- ・子供の試合や大会の見学
- ・Live や観劇
- ・都内への外出
- ・お祭り
- ・御朱印巡り

### 5) コロナ禍で出来なくなった事は?

大人数での食事（親戚との集まりなども） 飲み会 友人と会う（定期的な観光・飲食など）

気軽なお誘い マスク無しでの外出・外食 20時以降の外食 カラオケ

推しのコンサートやライブ・演劇鑑賞 旅行 帰省 登山 温泉 健康ランドでリフレッシュ

整体エステ 趣味の踊り ヨガ ジム お祭りに行く 家族以外との遊び 子供の習い事

子供達のスポーツ応援 学校行事 演奏会のイベント バレーボール（練習・試合）前髪

## 6) コロナ禍で新たに始めた事は？

資格取得の勉強など 料理（クッキー作りなども） 運動（ヨガ・ジム・ランニング・ウォーキング）  
サイクリング ストレッチ 自宅で筋トレ 散歩 読書 手芸 楽器 釣り 娘と絵を描く  
キャンプ バイク サブスク テイクアウト お取り寄せ 家飲み 庭飲み ベランダピクニック  
オンラインで友人との会話 各料理に取り箸をつけた 動画鑑賞（YouTube など）  
Instagram や Zoom の活用 SNS を観るようになった  
新たな趣味探し 車通勤 安藤眼科医院で仕事 20：45 ～の NHK

## 7) コロナ禍になって捨てた物は？

洋服（ドレス・子供服など） 子供用品 不要となった家の備品 靴 家具（棚・ソファなど）  
食器 旅行ガイドブック 古本 ダンナへの期待（心）

## 8) コロナ禍で新調した物は？

コロナ対策用品（マスク・除菌シートなど） 家電（洗濯機・冷蔵庫・テレビ・電気圧力調理器・除湿器など）  
インテリア 手巻き寿司セット 家の外で使うテーブル Yogibo 食器棚 ランチプレート  
グラウラー 洋服 マッサージグッズ ランニングシューズ 任天堂 switch Lite  
クロームキャスト コンピューター 自転車 車 カメラ（バードウォッチ用）

## 結果

コロナ禍になり、学校行事や習い事、ヨガやジムなどの大人数で行うものが制限された事で、新たに資格の勉強や動画鑑賞・SNS と言った家で1人でも出来る事を始めた人が多くなりました。またお家時間も増えた事で不用品を捨てたものもあれば、家具や家電・インテリアなどを新たに購入したとの回答が多くありました。サブスク（定額制）も旅行や外食が制限された事で利用した人が多くなりました。慣れないマスクがストレスに感じると言った回答もありましたが、やはり旅行などに行けなかった事が一番ストレスを感じた事ではないでしょうか？コロナ以前と同じ生活に戻る事は難しいかもしれませんが、ライフスタイルを変えながら以前に近い生活に早く戻ってほしいと願います。

## ■学会・勉強会

1月29日～31日	日本眼科手術学会学術総会（京都）安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 戸野塚敏恵 木村智嘉（web・会場共に開催）
2月11日～13日	角膜カンファランス2021（web開催）石川暢子
4月8日～11日	日本眼科学会総会（大阪） 安藤浩 安藤展代 江口亮（web・会場共に開催）
6月25日～27日	JSCRS学術総会（東京）安藤浩 安藤展代 江口亮 近藤亜紀
7月23日～25日	フォーサム仙台2021（仙台国際センター）石川暢子
9月10日～12日	日本緑内障学会（京都）安藤浩
9月17日	単焦点眼内レンズ Eyhance 勉強会 安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子 戸野塚敏恵 近藤亜紀 木村智嘉 井上拓己 看護師
10月28日～31日	日本臨床眼科学会（福岡）安藤浩 安藤展代 江口亮 石川暢子
12月3日～5日	日本網膜硝子体学会総会（東京）安藤浩 江口亮 近藤亜紀

## ■新入職員に聞きました。安藤眼科医院はいかがですか？

### この1年を振り返って

事務 伊部 誉子

入職したての1週間は緊張と疲れでほとんど眠れず、ドラえもののび太のように入眠の速さだけが取り柄だった私は、このまま続けていけるのか…正直不安しかなかった。あれから2年。今年は2年目という事もあり、生活のリズムもできてだいぶ慣れてきた。毎朝7時半。家事をひと通り済ませて小学生の子供と一緒に家を出る。8時から仕事が始まり、すこし落ち着いたところで銀行へ両替に行く。足早に医院へと戻る途中、さわやかな風が頬をなでる。ふと顔をあげると左手に眼科の建物が目に入った。緑で大きく書かれた「安藤眼科医院」の看板。それを見て一人ほほ笑む。ああ、毎日が楽しくて充実している。最初の1週間で挫けなくて本当に良かった。今まで何社か勤めてきたが、自分の勤務先の看板を見てつい笑みがこぼれてしまうほど充実していた事なんて一度もなかった。まだ未熟だけど、これからも頑張って出来る事を増やせるように。日々努力していきたい。

### 一年を振り返って

事務 田中 優希

私が当院に就職して1年と8か月が経ちましたが、改めて振り返ってみると私自身や世の中にも大きな変化がありました。はじめは診察室とオペ室を行き来しながら教わったことを必死にノートにまとめて実践するという流れの作業の繰り返しでしたが、先輩方が優しく時に厳しく指導して下さいのおかげで、今では自分で考えて行動できるまで成長しました。また、目の構造や病気に対する専門的な知識だけでなく、医療現場で働く者としての責任の重みも学べました。現在は後輩を指導する立場をまかせていただいておりますが、初心に戻って自分の仕事に対する姿勢を見直す良い機会になりました。研修期間にコロナが流行し始め数々の企業に大きな影響がある中で、この先どうなるのか不安に思うこともありましたが、安藤眼科医院でお仕事を続けられていることに感謝しております。これからも自分自身をさらに成長させていきたいと思っております。

### この1年を振り返って

看護師 鈴木 理絵

とにもかくにもあつという間の1年間でした。初めての外来業務、手術室業務と覚えることが山積みで勉強が追いつきませんでした。毎日今日は何んなことがあるだろうか、無事に1日が終わりますようにと願いながら出勤していました。ただ、わからないことがあっても、安藤眼科医院では職種の隔たりなく質問すれば快く教えていただけたので本当に助かりました。以前勤めていた病院でも眼科手術を行っていましたが、1日5件が最多の手術件数でした。手術室へ勤務するようになり、安藤眼科医院では1日20件から30件の手術があることを目の当たりにして、手術の速さについていける気が全くしませんでした。ですが、手術室でも周囲の方々に助けて頂けるのでなんとかくじけずに勤務することができました。今後は何事も楽しんで仕事ができるようになりたいと思っております。

### 安藤眼科医院で1年経過して

臨床検査技師 今田 博久

入職してから早1年経過しました。覚えることも多くあり、あつという間でした。私は以前、別の眼科で臨床検査技師として勤務しておりました。白内障手術や視野検査、一般業務など被るものも多ければ、違うところもかなりありました。私が感じる一番の違いは「眼科医療に対する個々の意識の高さ」この一言に尽きます。以前の病院では検査員は検査のやり方、機械の操作方法は知っているが臨床意義は詳しく知らず、Dr任せのところがありました。それはそれで業務に支障はなく、検査員に負担をかけないようにしたいという院長の思いがあったからなのかもしれません。安藤眼科医院では個々が臨床意義を学び、考え、その知識を基により良い検査結果を出すという今まで感じえなかったものがあります。どちらが正しいという訳ではありませんが、医療職としてのやりがいはい間違いなく今の方が強くあります。これからもより良い結果を出すために学んでいきたいと思っております。

## あっという間の一年

事務 金園 藍

まず1番に思い浮かぶのは“あっという間”だったという事です。私は診察付き、受付事務、診断書作成等の業務をさせて頂いております。それ以外にも細かな仕事がたくさんあり、一日が一瞬で過ぎていきます。慣れない業務で失敗し注意を受けた事もあります。自分の不甲斐なさに落ち込みましたが、その度にアドバイスを頂き、根気強く教えて頂いた諸先輩方には感謝しかありません。徐々に仕事の流れがわかってくると、今まで余裕がなく聞こえてこなかった診察室での会話が以前よりも聞こえてくるようになりました。次はこんな流れになるかなと頭の中で予想してみたり、患者様との会話を楽しめるようになったりと、本当に少しずつですが仕事の面白みを感じられるようになってきました。今後は専門的な知識も少しずつ勉強していき、立ち止まる事もあるかと思いますが、日々成長し、一日でも早く安藤眼科医院の戦力となれるよう努力していきたいと思います。

## この1年間を振り返って 事務 すっきり号マネージャー補佐 土屋 志帆

アニュアルレポートのお話を頂いて1年間を振り返った時に思ったことはもう1年経ったのかということと、感謝の気持ちでした。この1年間私は、受付、事務会計、診察付き、送迎担当をさせて頂きました。研修期間はとにかく覚えることが多く、研修期間を終えると今まで覚えてきたことを1人でできるように実践し、毎日緊張とドキドキの日々で1日1日がとても早く過ぎていきました。緊張とドキドキは1年経ってもまだ慣れませんが、この1年で先輩方に多くのご指導をいただき、失敗をしてしまった時は助けていただきました。送迎も、ドライバーの方にたくさんの協力をしていただき、1年を過ごすことが出来ました。大変なこともあります、日々やりがいを感じることでできる職場でもあります。まだまだ失敗やご迷惑を皆様におかけする事もあると思いますが、初心を忘れず努力していきたいと思います。

## 僕にできる事

臨床検査技師 梶浦 充敏

2月に入職した梶浦です。

眼科業務は未経験なため不安でしたが、教育体制の充実、且つスタッフの方々が親切な事もあり現在は安心して業務を全うしています。お世話になった先輩が退職する事になり、新人の僕は様々な検査をできる事、業務を円滑に回す事が恩返しだと考えました。そのために検査数をこなし、うまくできなかった時は原因を追求し検査に取り組みました。その結果できる事が増え、積極的に検査をこなす自信がつかしました。

今後できることは、新人スタッフに先輩方の様に優しく丁寧に教える事です。それがもう一つの恩返しだと思っています。まだ未熟ですが『やってみよう』を合言葉に、検査スタッフとして尽力していきたいです！

## 6カ月を振り返って

検査助手 小林 千絵

この6カ月は今までの人生で一番あっという間に過ぎてしまったような気がします。これまで接客業しか経験のなかった私が何の知識もなく眼科に受診した事もない状況で頑張ろうと思ったのは受験生だった娘の影響です。毎日一生懸命頑張っている娘の姿を見て私も何か新しい事頑張りたいと思ったからです。朝5時に起きて私の一日が始まります。今までの生活とはガラッと変わり子供達より先に家を出る心配と不安。接客業との違いに戸惑ったり迷ったり不安でいっぱいの日々でした。でも今は皆さんに優しく根気強く教えていただき奮闘しながらも充実した毎日です。この先も色々な事を吸収して一人前の検査員になりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いたします。

## 安藤眼科医院に入職して

視能訓練士 白井 良

私は新社会人として、4月に安藤眼科医院に入職しました。大学で4年間眼のことを学び、視能訓練士という国家資格を取りました。いざ臨床の場に出てみると初めて知ることも多いです。日々、知らなかったことを調べて知識と技術の向上に努めています。検査で患者様に接していると、皆さん眼の状態に不安を感じているのが伝わってきます。今はまだ検査に時間がかかってしまい、お待たせしてより不安させてしまうこともありました。先輩方から、いかに親身になってより良い医療を行えるか考えて検査しようと、アドバイスも頂きました。反省を活かし改善して、早く一人前の視能訓練士になれるよう頑張ります。

## 新入社員のように

ドライバー 松島喜久朗

2度の大病による入院で医療に従事している方たちを見て、ほんの少しでもお役にたてる仕事ができればと思い、定年後の再就職として安藤眼科医院の患者さん送迎ドライバーの職につきました。再就職は、新入社員の気持ちの懐かしさを感じながら、諸先輩の方から親切丁寧に教えて頂き、とても良い職場で安心できました。この仕事で感じたことは、送迎は各々単独ですが、チームで患者さんに迷惑を掛けない様、送迎時間や段取り等を補いながら進めていることが重要なポイントでもあると感じました。医療に関わるお手伝いがほんの少しでも出来ればとも思っ、安全運転を心がけ患者さんを送迎している日々です。

## ■ コロナ禍でのすっきり号運行

事務 すっきり号マネージャー 生水 里美

昨年からのコロナ禍が続き、無料送迎車（すっきり号）を運行していくにあたり、今年はスタッフ一同より一層感染対策に努めて参りました。車内は「密」な環境になるため、スタッフの毎日の検温・体調確認はもちろん、車内の換気と消毒の徹底をし、送迎車をご利用される患者様にもマスクの着用と外来は原則お一人で、手術付き添いはご家族おひとりだけのご利用をお願いしています。皆様に快くご協力していただいたことで、患者様とドライバーお互いに安心して安全に運行できましたことに感謝しております。本当にありがとうございました。皆さまに「すっきり」したお気持ちで送迎車をご利用いただけますよう、引き続き感染症対策や事故防止に気をつけながら、新たな1年も頑張りたいと思います。

今年の利用者は延べ2650人、月平均221人でした(予定含む)。現在すっきり号は4台、ドライバーは5名で松田本院と小田原クリニック間、足柄上郡松田町寄地区、山北町中川地区・清水地区に定期便を運行、足柄上郡全域と小田原市については手術日と翌日診察について door to door の運行を行っています。

## ■ 改装・修理・点検

### 松田

1月8日 1階処置室 NAVIS CLR-05 リプレイス  
2階相談室 NAVIS CLR-09 リプレイス  
2月8日 2階相談室 NAVIS-CL09 入れ替え  
2月18日 OCT-S1 (キャノン Xephilio) 搬入  
3月3日 診察室5 ドクター用画面修理  
3月7日 ワックス掛け  
3月8日 2階相談室 NAVIS CL-09 入れ替え  
3月24日 エレベーター点検  
3月26日 消防設備点検  
5月5日 NAVIS 端末入れ替え  
5月28日 事務長室エアコンクリーニング  
6月9日 エレベーター定期点検  
6月18日 レーザー搬入設置作業  
(トプコン PASCAL Synthesis)

6月26~27日 庭木剪定  
7月3日 駐車場街灯修理隣家ブロック塀修理  
8月22日 ワックス掛け  
8月28日 ORCA バージョンアップ  
9月3日 ネットワーク調査  
9月8日 エレベーター定期点検  
9月15日 NAVIS サーバー無停電装置定期点検  
9月17日 NAVIS 回線入れ替え消防設備点検  
9月27日 NAVIS バージョンアップ  
10月22日 Navilas バージョンアップ  
10月26日 サーバー室現場調査  
11月1日 前眼部 OCT CASIA2 搬入  
11月2日 勤務管理システムソフト入れ替え  
11月5日 勤務管理システム  
タイムレコーダー本体入れ替え

### 小田原クリニック

1月4日 エレベーター定期点検  
1月22日 浄化槽法定点検  
1月24日 職員第4駐車場ペイント工事  
1月25日 エレベーター現場調査  
2月8日 NAVIS 現地調査  
3月8日 自動視力計搬入  
3月22日 エレベーターリニューアル事前調査  
3月28日 ワックス掛け  
4月29日~5月9日  
エレベーターリニューアル工事①  
5月4日 NAVIS 端末入れ替え  
セコムマグネットセンサー交換  
5月9日 エレベーター定期点検  
5月15~16日 エレベーターリニューアル工事②

6月7日 消防設備点検  
6月19日 3階手術室倉庫 照明器具交換  
7月30日 エレベーター定期点検  
8月28日 ORCA バージョンアップ  
9月3日 ネットワーク調査  
9月4日 カタリス搬出作業  
9月23日 ワックス掛け  
9月27日 NAVIS バージョンアップ  
10月15日 エレベーター定期点検  
10月23日 電気設備法定点検  
10月24日 小外壁洗浄  
11月5日 勤務管理システム  
タイムレコーダー本体入れ替え  
11月8日 小田原市条例に基づく建物確認  
11月10日 NAVIS-CL08 スキャンナップ入れ替え

### 南足柄クリニック

1月19日 職員通用口ドア フィルム貼り換え  
1月30日 ワックス掛け  
2月20日 法定電気設備点検  
7月20日 電子カルテ回線1ギガ回線変更  
7月27日 駐車券認証器入れ替え  
8月28日 ORCA バージョンアップ

9月3日 ネットワーク調査  
9月27日 NAVIS バージョンアップ  
10月12日 電気メーター確認作業  
10月22日 電気メーター再点検  
11月5日 勤務管理システム  
タイムレコーダー本体入れ替え



## ■ スタッフ

常 勤 医	： 安藤 浩 近藤 亜紀	安藤 展代	江口 亮	石川 暢子	戸野塚敏恵
看 護 師	： 井上 拓己 藤田 孝枝 工藤奈津美	金田 浩子 香川奈美子 堤 夏樹	甲斐 智美 加藤 知佳 鈴木 理絵	榎本 和美 望月 美幸	松山さやか 露木 ちか
臨床検査技師	： 木村 智嘉 梅本 和希	志村 舞 今田 博久	十文字 恵 梶浦 充敏	新村 瑞希	成瀬 弘紀
視能訓練士	： 笹原 諒平	山口 優希	白井 良		
検査看護補助	： 山室 智子 矢部 美佳	高橋 京子 田近麻里絵	山川久美子 小林 千絵	岡田真由子	鈴木亜也子
事 務	： 加藤 晃仁 近藤 里奈 矢口 弥生 町田 裕子 熊本 靖代 野地 真弓 権守 愛莉	小寺 弥生 波多野麻里亜 関 麻子 土橋 祥子 生水 里美 伊部 誉子	加藤 明子 山口いづみ 奥村 明奈 木村芽久未 星野 友美 田中 優希	山岸 友希 宮下千加子 本多久美子 関野 芙美 小島 絵美 金園 藍	飯山百合子 鈴木 雅美 渡辺 孔美 高田 里沙 鍵和田利奈 土屋 志帆
ドライバー	： 米山 俊彦	和田 弘	生沼 等	土屋 邦明	松島喜久朗

【赤字：産休中あるいは育休中 青字：今年の新入職員 緑字：研修中】

## ■ 2021年皆勤賞 無遅刻・無欠勤・無早退の方々です。拍手！

金田浩子 小寺弥生 山室智子 高橋京子 山川久美子 関麻子 関野芙美 笹原諒平 露木ちか  
工藤奈津美 山口優希 星野友美 野地真弓 梅本和希 田近麻里絵 田中優希 鈴木理絵

## ■ 次の方が退職されました。お疲れ様でした。

藤本景子さん、田辺勝美さん、小見山絵理子さん、須貝剛さん

## ■ 編集後記

アニュアルレポート2021はいかがでしたか。今年は東京オリンピック、パラリンピックが開催されましたがCOVID-19が終息せず無観客となりました。当院のスタッフ一同はコロナの感染対策をがんばって、診療所内のクラスター感染を起こすことなく2021年を何とか乗り越える事ができました。これはひとえに患者様をはじめ、このアニュアルレポートをお手に取り読んで頂きました皆様のご協力があったからだと思ってお礼申し上げます。コロナ禍で色々と生活様式に変化があったため、医師も含めスタッフ全員にアンケートを取りました。旅行や友人などとの会食が制限され、我慢の限界なのはみんな一緒だったことがわかりました。それでも当院は神奈川県で2台目となるCanon OCT S-1を購入した事が大きな話題です。またレーザーも新機種(PASCAL Synthesis)を購入できました。来年もスタッフ一同、日々成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

編集長 成瀬 弘紀



10月1日の虹

